

ごあいさつ



札幌市長
秋元 克広

2022年、札幌市とミュンヘン市は姉妹都市提携50周年を迎えました。札幌市とドイツ・ミュンヘン市は、1972年に開催された冬季・夏季オリンピック大会を契機として姉妹都市提携を締結し、50年という長きに渡り、芸術・文化・スポーツなど様々な分野で交流を深めてまいりました。

9月には、私を含む市長訪問団及び市議会議員訪問団が、ミュンヘン市を訪問しました。例年、約600万人が訪れる世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」にお招きいただき、ミュンヘン市の先進的な取組を拝見したほか、同時期に両市のアーティストによる展覧会も開催されており、芸術を通じた両市の交流がしっかりと継続していることを実感したところです。

翌年6月には、ライター市長をはじめとする14名の訪問団を札幌にお迎えし、都市交通の取り組みに関する視察や、YOSAKOIソーラン祭りの鑑賞などを行いました。互いの取り組みについて意見を交わし、札幌市の行政施策の充実へと繋がる実りある時間となりました。

ここ数年コロナ禍で、海外との往来が困難な状況となりましたが、交流の始まりから半世紀という大きな節目に相互訪問が実現し、各所で様々な記念事業が実施されたことは、今後の互いの発展につながる機会となり、両市の関係がより一層深まったと感じております。

50年間という長きに渡る姉妹都市交流の発展に多大なるご尽力を頂きました皆様に心より感謝を申し上げますとともに、次の50年に向け、この絆がより一層深まり、両市の発展がもたらされることを祈念いたします。

ごあいさつ



ミュンヘン市長

ディーター・ライター

姉妹都市提携 50 周年の記念事業の一環として、秋元市長と 2022 年にミュンヘンで、また 2023 年には札幌市でお会いできたことを大変嬉しく思っています。そして札幌市がこの記念誌を通して、両市で行われている活発な交流事業についてご紹介いただいたことに感謝申し上げます。

2022 年は、姉妹都市提携 50 周年に加え、両市のオリンピック開催 50 周年という二つ大きな節目の年となりました。印象的なアート・パフォーマンスや公式記念ビールの合同試飲会など、多彩なプログラムが用意され、多くの充実した出会いがあったことを今でも覚えています。半世紀以上にわたって、私たちの姉妹都市関係は、常に新しい刺激を与えあってきました。特に、民主主義と憲法の価値観を共有する信頼できるパートナーを持つことが、平和と繁栄にとっていかに重要であるかを日々深く感じる今、札幌との友好関係に大変感謝しています。

50 年前と変わらない活発な交流と友好的な協力関係は、今日の札幌とミュンヘンのパートナーシップを特徴づけております。これらは関係各位のご協力の賜物であり、厚く感謝申し上げます。

Es hat mich sehr gefreut, dass ich im Zuge des 50-jährigen Jubiläums der Städtepartnerschaft zwischen Sapporo und München meinen Amtskollegen Katsuhiko Akimoto gleich mehrmals persönlich treffen konnte – sowohl letztes Jahr in München als auch heuer in Sapporo. Und ebenfalls sehr erfreulich ist, dass die Stadt Sapporo mit dieser Broschüre wieder in bewährter Weise über den aktuellen Austausch im Rahmen unserer Städtepartnerschaft informiert.

Vergangenes Jahr konnten wir sogar ein Doppeljubiläum feiern – neben dem 50-jährigen Partnerschaftsjubiläum auch das Olympiabjubiläum unserer beiden Städte. Ich erinnere mich noch gut an das vielseitige Programm mit eindrucksvollen Kunstdarbietungen, der gemeinsamen Bierprobe des offiziellen Partnerschaftsbieres und vielen bereichernden Begegnungen. Seit mehr als einem halben Jahrhundert erfährt unsere Städtepartnerschaft immer wieder neue Impulse. Dafür bin ich sehr dankbar, zumal in einer Zeit, in der uns täglich vor Augen geführt wird, wie wichtig es für Frieden und Wohlstand ist, verlässliche Partner zu haben, die unsere demokratischen und rechtsstaatlichen Werte teilen. Intensiver Austausch und freundschaftliche Solidarität prägen heute wie vor 50 Jahren die Partnerschaft zwischen Sapporo und München – dafür gilt allen Beteiligten mein herzlicher Dank!



Dieter Reiter

祝 辞

在ミュンヘン日本国総領事

別所 健一

札幌市とミュンヘン市が姉妹都市提携 50 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。50 年間にわたる長年の幅広い分野での交流は、札幌とミュンヘンの両市の関係者、また、市民の方々のご尽力と相互の深い信頼に基づくものと思います。両市間の交流に関わってこられたすべての皆様に対し、敬意と感謝の気持ちをお伝えします。

昨 2023 年 6 月に札幌を訪問されたライター市長をはじめ、ミュンヘン市の方々と意見交換する機会がありましたが、一同、札幌市との交流の意義を高く評価されています。ミュンヘン市庁舎の入口に掲げられた札幌市の紋章は長年の友好の絆を象徴しており、また、昨年末のミュンヘンでのクリスマス市で出展された札幌市の物産ブースは大変な盛況でした。またミュンヘンでは、長年の札幌市との市民レベルでの交流もあり、毎年夏に英国庭園で日本祭りが開催されており、市民の間でも恒例の行事となっています。コロナの感染拡大期は両国の入国制限等により日独相互の交流が難しくなりましたが、最近では両国間で自由に移動できるようになり、日本とミュンヘンとの直行便も再開されました。今後、さらに、文化・スポーツ交流、経済交流、また、将来の世代を担う青少年の交流が進むことを心より願っています。

通信技術等の急速な発展により様々な情報が溢れる時代に生きる今、相互の交流と異文化に対する理解の増進はその重要性をますます高めていると思います。在ミュンヘン日本国総領事館としては、ドイツと日本の交流を結ぶ架け橋となるよう、また、札幌市とミュンヘン市の交流を全力で支援していく所存です。今後ともよろしくお祝い申し上げます。

札幌姉妹都市協会 会長

岸 光右

札幌市とミュンヘン市は、1972 年に両市でオリンピックが開催されたことを機に姉妹都市提携を締結しました。以降、様々な形で交流を深めながら双方の優れた分野について学び合い、この度、2022 年に 50 周年という大きな節目を迎えられたことは大変喜ばしいことであり、心からお祝いを申し上げます。

札幌姉妹都市協会では、この度の 50 周年を記念して、札幌国際プラザと共に様々な事業を展開いたしました。その皮切りとして、7 月には毎年ミュンヘンにて開催される「日本祭り」に札幌ブースを設置。札幌国際プラザ職員と国際交流員も現地へ赴き、アイヌ文化や観光情報等を中心に札幌の PR を行ったほか、地域の学校や民間交流団体、外国人に対するドイツ語教育施設とも交流と情報交換を行い、多文化共生の先進地ドイツの対応を学びました。札幌においては、9 月にバイエルン独日協会（本部：ミュンヘン市）が募集したドイツの青年団と札幌市内の大学生による交流事業を実施し、若い世代への情報発信と交流機会を創出することができました。

また、10 月にはドイツ国内で一番大きな金銀細工職人の団体（バイエルン州金銀細工ギルド）から、マイスターでもある札幌出身の副会長をはじめとする職人が来札し、「ドイツ金銀細工ギルド展」及びセミナーを開催。ドイツの伝統工芸を通じて異文化に触れる機会を市民に提供できた、印象深い行事となりました。

コロナ禍の影響がまだ残るなか、これらの行事には両市の多くの市民が参加・来場し、世代を問わずそれぞれの都市や文化に対して、高い関心が寄せられていることを再確認する貴重な一年となりました。50 周年という節目は迎えましたが、今後も様々な事業を通じて交流を活発化させることで、両市の絆をより一層深め、更なる発展へと繋がられるものと考えております。

引き続き当協会は、札幌市民とミュンヘン市民の交流の架け橋となるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

祝 辞

札幌市議会議長
飯島 弘之

札幌市とドイツ・ミュンヘン市が1972年に姉妹都市提携を締結し、2022年で50周年という節目を迎えられましたことを、札幌市議会を代表して心からお慶び申し上げます。

2022年9月、姉妹都市提携50周年を記念して、札幌市議会議員12名の訪問団が、市長訪問団とともにミュンヘン市を訪問させていただきました。私自身も参加し、ディーター・ライター市長をはじめ、ミュンヘン市議会議員や訪問先の皆様に心温かい歓迎をしていただき、これまで築きあげてきたミュンヘン市との親善友好関係の歩みを改めて感じました。

ミュンヘン市庁舎における50周年記念式典などの公式行事への参加のほか、「オリンピアパーク・ミュンヘン」の視察もさせていただき、1972年のミュンヘン夏季オリンピックが開催された際の施設が、今もなお活用され、広く市民に利用されるなど、札幌市の今後のまちづくりにも参考となる大変有意義な時間を過ごすことができました。

この訪問を契機として、2023年6月には、ディーター・ライター市長とミュンヘン市議会議員からなる訪問団の皆様札幌にお越しいただき、私も議長立場として、お迎えすることができたことは、大変感慨深いものであり、45周年の際に続き、相互訪問が実現したこともとても喜ばしく、より一層、両市の友好関係が深まったと考えております。

私ども札幌市議会といたしましても、札幌・ミュンヘンの両市民の交流がますます活発になることを目指し、親善友好関係の構築に引き続き、取り組んでまいります。

結びに、両市が半世紀の間、築いてきた交流の絆が、今後より一層深まることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

北海道日独協会会長
鈴木 重統

伝統は守られるものではなく、日々築くもの

1972年の冬季オリンピックは札幌、夏季オリンピックはミュンヘンで開かれた縁もあって、両都市は姉妹都市となり50周年を迎えたことは慶賀にたえない。

これを機会にバイエルンの独日協会とわが北海道日独協会も姉妹都市協会のパートナーシップを締結したことも喜ばしいことである。

50年という歳月は、歴史のなかではそれほど長い期間ではないので、この伝統は単に守るべきものではなく、その上にさらに日々あらたに新しい伝統を築いてゆかなければならないということが両都市に課せられた使命であろう。

私がかつて読んだ本のなかで忘れえぬ一冊に「美しき惑いの年」(ハンス・カロッサ)(岩波文庫)がある。医師であり作家でもあるカロッサが、日本の高校にあたるドイツの地方のギムナジウムを卒業し、ミュンヘン大学の医学部に進学してからの体験をもとに記した名作である。

まったく新しい体系の学問や、今まで見たこともない患者さんに、ただ驚くだけでなく、さまざまな錯迷に遭いながらそれに溺れることなく、高い志の人間の立場に向かって歩いてゆく青年の姿を描いたものである。私的なことに亘って恐縮であるが私自身ミュンヘン大学の医学部の産科婦人科で学んだので、留学時代熟読して感銘を受けた。

極論を言えば「青年時代とは、それ自身が欺瞞的なものである」(ニイチェ)という見方もできるが、将来伸びようとする人間は、必ず錯誤をくり返さなければならない時期があることもまた確かである。

その意味で言えば50年は単なる通過点であり、如何に新しい伝統を築いてゆくかということが、両都市に課せられた使命であろう。

このカロッサの名作に見る如く、ときに惑うことはあるにしても、伝統は守るべきものではなく、日々自ら築き上げるものであるということを改めて銘記している今日この頃である。

祝 辞

バイエルン独日協会会長

オリヴァー・シェーン

1972年に開催されましたミュンヘンオリンピックと札幌オリンピックは、友好的で世界に対して心を開いていることで知られる両都市の姉妹都市提携の出発点となりました。

50年にわたり、このパートナーシップは熱意をもって続いてきました。毎年、英国庭園で開催される「日本祭り」は、ミュンヘンの中心部で日本を感じることができ、札幌で開催されるミュンヘンクリスマス市は、日本の冬にバイエルンの心地よさをもたらしています。

人的交流はとりわけ重要であり、秋元市長が2022年の秋にミュンヘンを訪問し、「オクトーバーフェスト」のオープニングにご参加されたことは大きな喜びでした。また、2023年初夏にライターミュンヘン市市長が大規模な訪問団と札幌を訪問したことも、友好関係を深める一助となりました。

バイエルン独日協会もこの友好関係に貢献しております。2022年9月に青少年壮年日独異文化交流代表団が札幌を訪れ、心から歓迎して頂きました。若者たちは友好的な歓迎に大きな印象を受け、深い感謝の念を抱きました。彼らはおそらく日本、特に札幌に深く親しみをもち続けるでしょう。

ミュンヘン市と札幌市には多くの共通点がありますが、中でも両都市は美味しいビールで世界的に知られています。この共通点から、ミュンヘン市の醸造者は2022年に札幌とミュンヘンの姉妹都市提携記念ビールを醸造しました。日独の参加者による共同試飲会の結果、このビールが特に成功を収めたことは疑いようのない事実です。

この半世紀の成功に続き、札幌とミュンヘンの姉妹都市提携が次の50年も成功裏に発展していくことを確信しております。

Die Olympischen Spiele in München und Sapporo im Jahr 1972 waren der Ausgang für die Städtepartnerschaft zwischen den beiden Städten, die für ihre freundlichen und weltoffenen Menschen bekannt sind.

Seit 50 Jahren wird diese Partnerschaft mit großem Enthusiasmus gelebt. Das Japanfest im Englischen Garten bringt jedes Jahr ein Stück Japan in das Herz Münchens und der Weihnachtsmarkt in Sapporo bringt bayerische Gemütlichkeit in den japanischen Winter.

Besonders wichtig ist aber der Austausch der Menschen und deshalb war es eine große Freude, dass der Oberbürgermeister Akimoto im Herbst 2022 München besucht hat und Gelegenheit hatte bei der Eröffnung des Oktoberfests teilzunehmen. Auch der Besuch des Oberbürgermeisters Reiter im Frühsommer 2023 mit einer großen Delegation in Sapporo hat zu einer Vertiefung der guten Beziehungen beigetragen.

Auch die Deutsch-Japanische Gesellschaft in Bayern e.V. hat einen Beitrag geleistet. Im September 2022 hat eine Jugenddelegation Sapporo besucht und wurde mit offenen Herzen empfangen. Der freundliche Empfang hat die jungen Menschen sehr beeindruckt und ein tiefes Gefühl der Dankbarkeit hinterlassen. Wahrscheinlich werden sie Japan und insbesondere Sapporo tief und innig verbunden bleiben.

Bei den vielen Gemeinsamkeiten der beiden Städte sticht vor allem hervor, dass beide Städte weltweit für gutes Bier stehen. Diese Gemeinsamkeit haben die Brauer der Stadt München zum Anlass genommen, dass im Jahr 2022 ein Jubiläumsbier anlässlich des Jubiläums der Städtepartnerschaft zwischen Sapporo und München gebraut wurde. Eine gemeinsame Probe mit japanischen und deutschen Teilnehmern hat das unwidersprochene Ergebnis gebracht, dass dieses Bier besonders gelungen ist.

Nach dem ersten erfolgreichen halben Jahrhundert ist sicher vorhersehbar, dass sich die Städtepartnerschaft zwischen Sapporo und München auch in den nächsten 50 Jahren erfolgreich entwickeln wird.

Dr. Oliver Schön
Präsident der DJG Bayern e.V.